

としょかん100周年

私と図書館

～Vol.3 キッズ編～

2018年12月1日、鹿島市民図書館は100周年を迎えます。

図書館との思い出を募集中！
館内の応募箱またはメールにてご応募ください。

メールアドレス：kashimal@theia.ocn.ne.jp

私は図書館が大好きです。よみた
い本がたくさんあるし、とてもべんきょう
になります。本というのは私にとって家
族みたいなそんざいです。図書館にくる
と心がとてもあたたかくなります。私が
本をさがすとき、としょかんではたらく人
がやさしく教えてくれます。私は図書館
をうれしく思います。

100周年をむかえる
のは、すごいと思います。
工事もあっていそがしか
ったと思います。でも、図
書館はすてきなところ
です。まだまだすてきなと
しよかんでいてください。

私は2015年から(エイブ
ル)図書館に行き始めました。
私は図書館にはどんな本があ
るだろう!!とわくわくしてい
たら、とてもかわいい本や見てみ
たかった本がいっぱいありま
した。そして私が気づいたことは、
ビデオやしょうぎ、囲碁が見れ
たり、したりできるんだなあ～と
思いました。私は2015年から
囲碁に通っています。私は1年
生から3年生(今)までずっと
通っています。私は今、図書
館が気に入るようになって、いっ
ぱい本をかりています。

ぼくは前、嬉野図書館に行
ってたけど、もうほとんど読んで
しまったので、かしま図書館でか
りる事になりました。ぼくは、うれ
しの図書館には2さつしかない
本やうれしの図書館にはなかつ
た本を見つけました。ぼくがとく
に好きな本は「○○の日曜日
シリーズ」です。これからも本を
たくさん読みたいです。



かしましみんとしよかんだより

みんと

2018年 第196号 3月

今月のみんと

- 館長コラム
- ミヤザキケンスケさん講演会 & ワークショップのお知らせ
- 地域コーナー展示のお知らせ
- 冬の特大おはなし会 報告
- 私と図書館 ～Vol.3～

鹿島市民図書館

一般財団法人
鹿島市民立生涯学習・文化振興財団
佐賀県鹿島市大字納富分 2700-1
鹿島市生涯学習センター エイブル
http://www.library.city.kashima.saga.jp
Tel (0954) 63-4343
Fax (0954) 63-2217
2018年2月25日発行



QRコード

ミヤザキケンスケさんがやってくる!

世界をまたにかけて活躍する佐賀県出身の
壁画アーティスト、ミヤザキケンスケさんが
鹿島市民図書館にやってきます!

自分の道を進む将来のヒントになるかも?!
みんなあつまれ!!

詳しくは、2ページをご覧ください★⇒

3月18日(日)
13:30~15:30

鹿島市生涯学習センター
「エイブル」3階 研修室

「私と図書館」

現在、鹿島市民図書館では「私と図書館」というタイトルでエピソードを募集しております。これは鹿島市民図書館創立100周年記念行事の一つとして、図書館に関わる思い出やエピソードを通じて今一度「本」そして「図書館」に目を向けて頂きたいという思いから、図書館スタッフが企画したイベントです。1月19日(金)の佐賀新聞朝刊にも掲載されましたのでご存じの方も多いかと思ひます。

新聞に掲載された翌日、思わぬ方から電子メールを頂戴しました。メールを下さったのは鹿島出身で現在、オーストリアにお住まいの久保智資(くぼさとし)さん。鹿島中学、鹿島高校を卒業され、東京の大学へ進学されたそうですが、卒業後は7年間ほど佐賀市の私立高校で教職に就かれた後、一念発起して渡欧。現在はオーストリア西部の風光明媚な町にお暮らしで、毎日、ネットを利用して全国紙と佐賀新聞に目をお通しだそうです。今回、故郷の図書館の記事を見つけ、早速電子メールで投稿して頂いたということでした。

久保さんは御年80を迎えられたそうですが、年齢を感じさせない、また長期の海外生活を思わせない、とても素晴らしい文章の原稿をお寄せ頂きました。久保さんの思い出話の中で最も印象に残ったのが、なぜ海外を目指したのか?という理由でした。実は久保さん、学生時代に五木寛之の「青年は荒野をめざす」に触発された結果とおっしゃっています。まさに一冊の本が一人の人間の人生に大きな影響を及ぼしたという事例ではないでしょうか。

昨今、「君たちはどう生きるか」(吉野源三郎著)が注目を集め、マンガ版は100万部を超える大ヒットになっています。元々は児童向けの読み物として今から80年前の1937年に発行された本ですが、今や児童や若者のみならず中高年にまで広く読まれているそうです。「本は人生の羅針盤」と言う言葉は、時代が移り変わっても不変のようです。



図書館長 前田英明

開館カレンダー

■・・・お休み



● 開館時間 ●
平日：9時30分～19時
土日祝：9時30分～17時

● おはなし会 ●
 あんころもち(0才)
火曜 14時～
 きびだんご(0～3才)
第1・3水曜 14時半～
 おはなし会(3才～)
土曜 14時～

3月							4月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3	1	2	3	4	5	6	7
4	5	6	7	8	9	10	8	9	10	11	12	13	14
11	12	13	14	15	16	17	15	16	17	18	19	20	21
18	19	20	21	22	23	24	22	23	24	25	26	27	28
25	26	27	28	29	30	31	29	30					

としょかん日記

ついに平昌五輪が開幕!6月にはW杯ロシア大会も控え、2018年はスポーツ三昧の1年になりそうですね♪懸命にがんばる選手たちの姿をみていると、スポーツってスバラシイ!と改めて思います。実は、図書館にもスポーツ関連の本や雑誌がたくさんあるところをご存知ですか?野球、サッカー、バレー、相撲など一般的な競技はもちろん、釣りやゴルフ、山登りまで、競技や選手、練習法や指導法などもっと知りたい!趣味をもっときわめたい!と思ったらぜひ図書館へ☺



(Y)

ミヤザキケンスケ さん 講演会 & ワークショップ



日程・場所

3月18日(日)
13:30~15:30

鹿島市生涯学習センター「エイブル」
3階 研修室

第1部：講演会
第2部：ワークショップ

第2部のワークショップでは絵を描きますので、クレヨンを持参してください。
第1部のみの参加も可能。

対象・定員

小学校高学年から一般の方 60名

参加
無料

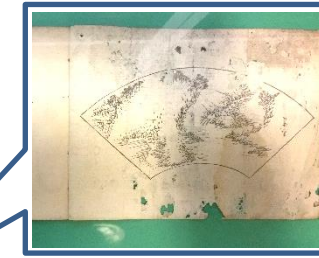
申し込み：2月18日(日) 9:30より



● プロフィール ●
1978年佐賀市生まれ。
筑波大学修士課程芸術研究科を修了後、ロンドンへ渡りアート制作を開始。
Supper Happyをテーマに、見た瞬間に幸せになれる作品制作をしている。
現在、世界中で壁画を残す活動「Over the Wall」を主催し、2017年はUNHCR協力のもと、ウクライナのマリウポリ市に国内難民のための壁画を制作した。

「かしま再発見～能古見編」を展示しています

エイブル2階床の間コーナー「かしま再発見～能古見編」にあわせて、図書館内の地域コーナーでも展示を行っています。



かかれたこの資料では、当時の平谷温泉の風景を見ることができます。

コシに
注目！ めも

『平谷温泉の図』
現在は鹿島の温泉として知られる平谷温泉。江戸時代にか

探訪マップ配付中！



エイブル2階床の間コーナーの展示は3月30日(金)まで。

《ギャラリートーク》
3月25日(日)
10:00~

冬の特大大おはなし会 (報告) 2018.2.3 保健センター内いきいきルーム

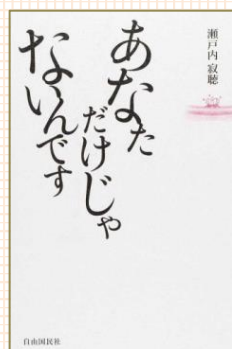
冬の特大大おはなし会、大盛況でした！寒さ厳しい中、たくさんのお子様たちが来てくれました。幻燈の上映を知って、ぜひ孫と見たいとおばあちゃんとお孫さん2人で参加された方も…。幅広い方々に来ていただいて嬉しかったです。



幻燈スライド上映は、温かみのある素敵な絵でした。画面の絵にあわせて登場人物のセリフなどを、子ども図書館サポーターが担当。みんなそれぞれとっても上手で、参加者をおはなしの世界に引き込んでいました。
おはなしの後は、風船羽根つきあそびをみんなで楽しみました！歓声をあげながら会場いっぱい広がって思いっきりあそびました。参加してくださったみなさん、そして、幻燈機とスライドの提供・操作を引き受けてくださった豊増さん、お手伝いしてくれた子ども図書館サポーターさんたち、ありがとうございました！

新しく届いた本

『あなただけじゃないんです』



瀬戸内 寂聴：著
自由国民社
人は誰も悩みを抱えているものです。その悩み一つひとつに著者が経験を通して答えていきます。時に優しく、時に厳しく答えを導いてくれます。心がスーッと軽くなる一冊です。

『バリアフリー温泉で家族旅行 続』



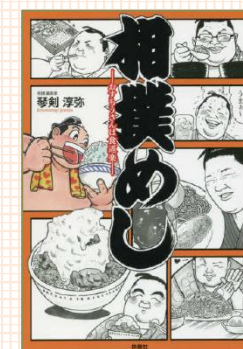
山崎 まゆみ：著
昭文社
著者の経験を踏まえ、高齢者や体の不自由な方にこそ温泉旅行を楽しんで欲しいという思いから、心から歓迎してくれる温泉宿を直接取材し、詳細に紹介。佐賀県からも温泉宿が紹介されています。とっておきの親孝行にいかがですか？

『注文をまちがえる料理店のつくりかた』



小国 士朗：著
森嶋 夕貴：写真
方丈社
2017年6月に3日間だけ開店した「注文をまちがえる料理店」。ウェイターはすべて「認知症」を抱える人たちです。スタッフやお客さんの表情に元気をもらえます。豊富な写真を盛り込んだドキュメント。

『相撲めし』



琴剣 淳弥：著
扶桑社
ちゃんだけではないんです！お相撲さんはかなりのグルメ。食通の親方、力士39人に聞いた美味しい話を漫画とエッセイで紹介。何かと話題の相撲界ですが、明るく生き生きとしたお相撲さんの笑顔があふれる「食」の本です。

『ある日突然、普通のママが子どものネットトラブルに青ざめる』



長谷川 陽子：著
アイエス・エヌ
「ネットは苦手…。」「まさかうちの子が！」子どもにネットやSNSについて正しく伝えることができますか？「情報の専門家である著者が、母親目線で分かりやすく解説します。」